# 令和８年度　小金地区意見交換会のテーマについて

（団体名）　幸田自治会

（件　　名）　とちの木通りの落ち葉清掃、その他について

（具体内容）

幸田自治会のとちの木通りは年々、とちの木が生育して、根が育ち過ぎて歩道を持ち上げて、歩行者がつまずき、けがをする恐れもある。

また、落ち葉道路清掃車の清掃においても、週一回程度実施されているが、地域住民より苦情が絶えない。

防犯灯も葉が覆っていて、歩道を照らす事も出来ないので、暗くて防犯灯の役割を果たさない。

また、電信柱の電線よりも高く枝が伸びていて、台風や季節風等の強風が吹く際は、電信柱が揺れて、電信柱が倒れるのではないかと不安視する声も絶えないし、落ち葉の後始末（4 月末～12 中旬）は、地域住民が毎日時間をかけて掃いて綺麗に片付けている。そのため、街路樹をすべて無くしてほしいといった意見も出ている。

このような状況において、市として何かできる手立てを考え、地域住民と話し合いの場を設けていただきたいが、市の見解をお伺いします。

（回　　答）

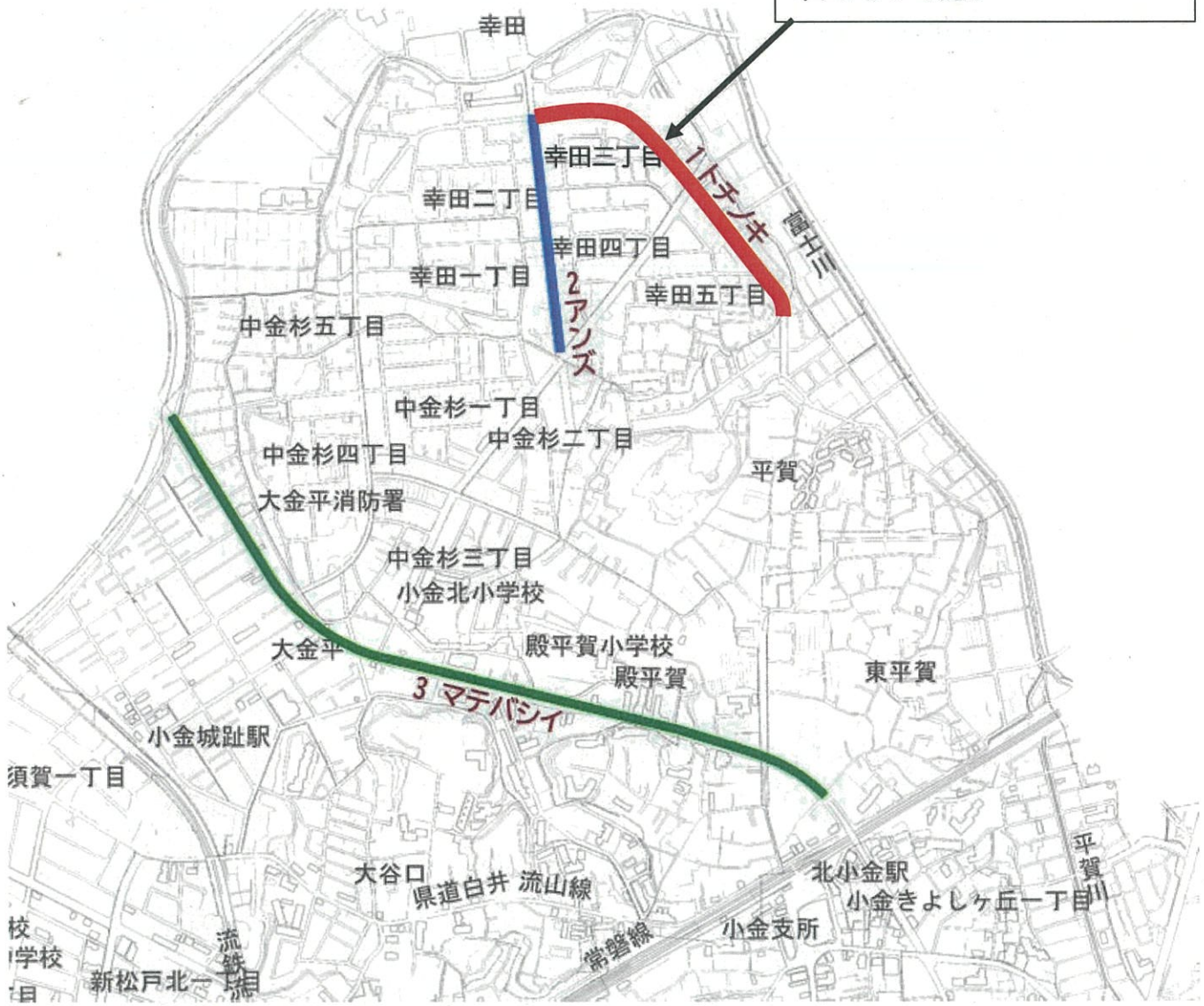
- 日頃より、とちのき通りの近隣の皆さまには、落葉清掃等でご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
- 当時からお住いの方はご承知かもしれませんが、幸田のトチノキの街路樹は土地区画整理事業が行われた昭和４０年代後半か５０年代にかけて植えられており、市内には他にも５箇所のとちのき通りがございます。
- トチノキの特徴は、葉が大きく、大きな木陰と、緑豊かな景観をつくるには適しておりますが、葉が大きいことで、風で飛ばされやすく、吹き溜まりに落ち葉が大量にたまることや、葉の芯の部分が固く、これが原因で落ち葉掃除の際に袋が破けるなど、幸田自治会の皆さまだけでなく、トチノキの沿道にお住まいの方から、厳しいご意見をいただくことがございます。
- また本来トチノキは、美しい花を咲かせる木ですが、街路樹のように定期的にせん定を行う管理では、花はほとんど咲かず、トチノキの長所が十分に生かされておりません。
- このように課題の多い樹種であることから、松戸市では今年５月に「松戸市街路樹の整備・管理に関するガイドライン」と言いまして、これから街路樹をどのように維持管理していこうかというガイドラインを策定したのですが、この中で、現状のトチノキは植替え対象の樹種としているところでございます。
- つきましては、すぐに全ての木を植え替えることはできませんが、少しずつ植え替えていくことを検討してまいりますので、年度内には一度、自治会の皆さまと話し合いの場を設けさせていただければと考えております。

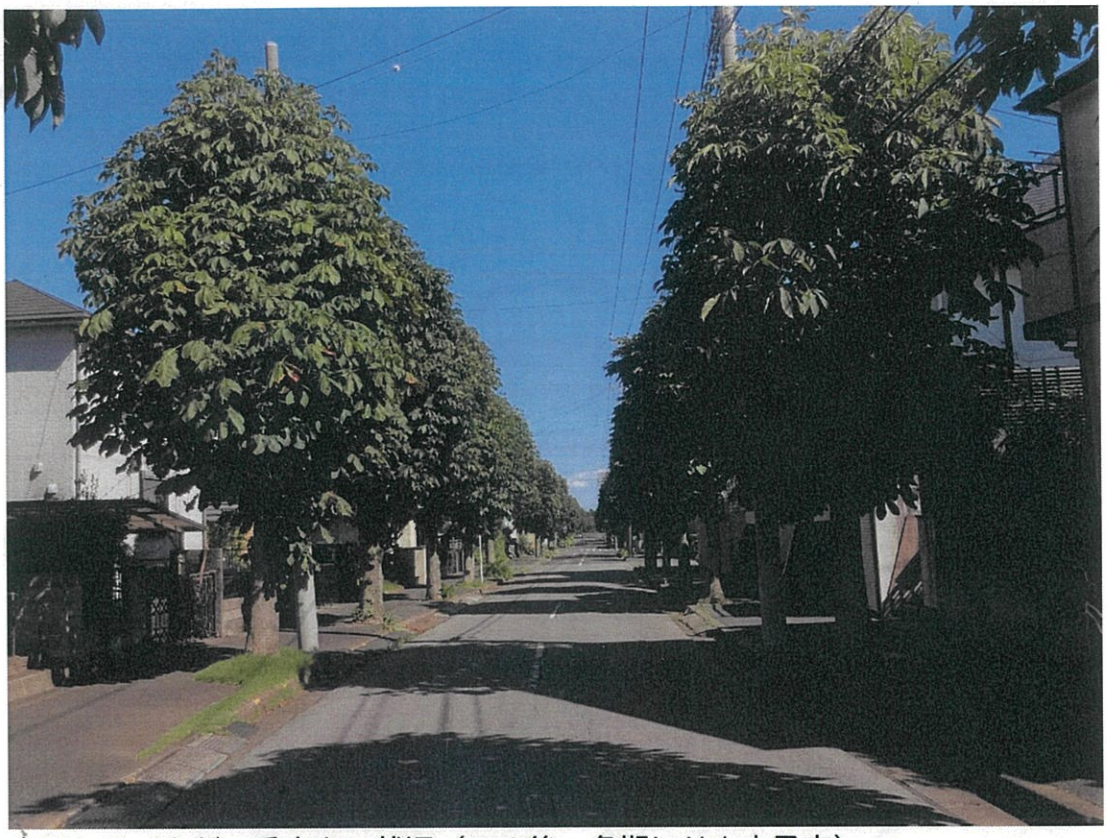
・ 一回の話し合いで新しく植える樹種を決められるわけではありませんが、是非多くの皆さまにご参加いただきたき、あまり大きくならないような別の樹種を一緒に考えていきたいと思っております。
・ それまでは、今後も定期的なせん定や道路清掃を行うとともに、根上がりや防犯灯回りの枝のせん定など、お気づきの点があれば速やかに対応をしてまいりますので、大変申し訳なく思いますが、ご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

（回答課）みどりと花の課

# 案内図

幸田自治会
地区意見交換会テーマ対象路線
幸田トチノキ通り





幸田トチノキが一番大きい状況（この後、冬期にせん定予定）



トチノキの葉は大きい